これは *U. pectinata* と成分を同うし，これより細形のもので形態的に殆んど一致して居り，唯枝が *pectinata* より更に細く且つ枝先に毛細管状の小枝が叢生して居る。又以前に筆者が *U. Hossei* Vain. f. *subtrichodea* Asahina とした邦産の一種は必然的に *U. misamisensis* の一形となる。

○キソウラジロアザミ（山崎　敬・浅野一男）　Takasi YAMAZAKI & Kazuo ASANO: A new variety of *Cirsium norikurense*

木曽駒岳の南にある念丈岳の飯田市側に流れる松川の上流で，御所平一帯の標高1300 m から 1800m にわたるあいだに，アザミの一種がある。河岸の陽性の砂礫地に発達する草むらの中に，ごく普通にみられる植物である。葉の裏に白い綿毛が密生していてきれいな白色をなしていることや，花の形から，ノリクラアザミに近いものでその一種とみられるが，葉にいちじるしい切れ込みがある点でことなっている（写真左）。葉の切れ込みの程度は個体によってさまざまで，比較的浅いものから，深く羽状にさけているものまであるが，大体は深裂しているものが多い。比較的切れ込みの浅いものをとうしてノリクラアザミと連絡するとみられるが，切れ込みの浅いものでも信州北部のノリクラアザミとくらべると，ずっと深く切れ込んでいるといえる。したがって念丈岳一帯のものは変種として区別してよいものと思われる。同じものは天竜川の東側の赤石山脈中部の大鹿村薮岩にもみられる。これは下伊那教育会所蔵の標本中からでてきたもので，標本が1枚しかないので，正確な産地や，この地域での変異の程度ははっきりしない。葉の極端な形のものは線形で鋸歯がごくわずかしかない個体もあった（写真右）。これだけみるとまったく別のもののようなかんじがするが，こういう形は1個体しかなく，切れ込みの深いものの群の中にまじっていたので，同じ集団の極端な変化形とみられるが，こういうものができるほどに葉の変化にとむものであることをしめしている。

葉の形だけからいうと近縁のセンジョウアザミ（*C. senjoense*）に似ている。しかし花柄が細長いことや，葉の裏面に白い綿毛が密生している点でことなっている。ノリクラアザミからも総包片がより質がうすくてやや小型であり，頭花もやや小さいことからすると，変種以上のものかもしれない。そのへんは両者の生品を比較した上で今後検討しなければならない。

ノリクラアザミは飛騨山脈，霧ガ峯，赤石山脈北部，白山山塊，伊吹山脈と広く分布しているが，木曽山脈では，これがどのように分布しているのか，花や葉の形はどうなのかということは今後の問題である。

小泉秀雄・横内斉氏の日本中央アルプス植物誌（1957）によると，ウラジロアザミの名のもとに，木曽山脈の諸所から報告されている植物がある。ウラジロアザミはノリクラアザミと同じもので後者より先に発表された名で，この方が使われるべきだと思われるが，その産地は木曽山脈の北からいうと，経岳，木曽駒岳，越百（こすも）山である。

またウラジロオクヤマアザミとして“下方の葉は深裂する，葉裏が白い”とあるものが，木曽駒岳の中御所から報告されている。これは念丈岳のものと同じものでないかと思われる。したがって木曽山脈には *C. norikurense* が広く分布していると思われる。

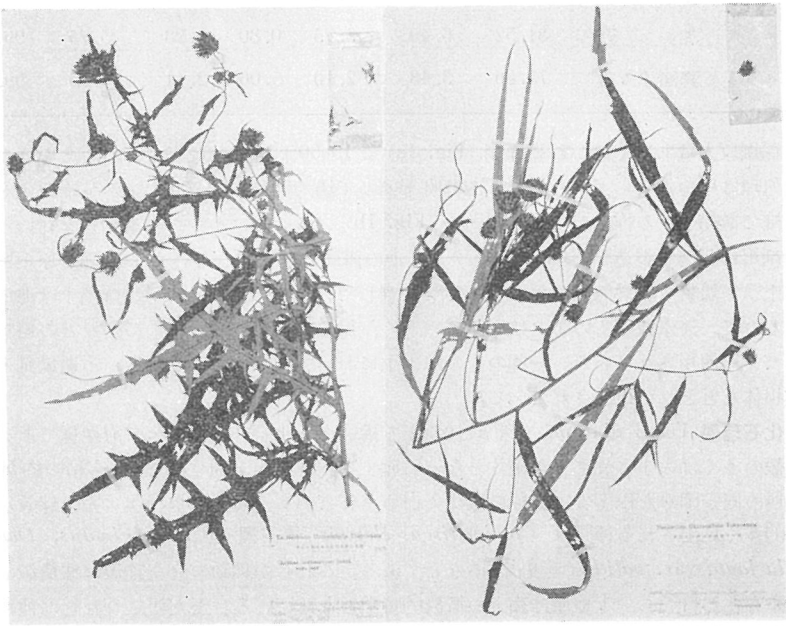
（東京大学理学部植物学教室，長野県飯田市山本中学校）

Cirsium norikurense Nakai var. **kisoense** Yamazaki et Asano var. nov.

Folia pinnatifida vel pinnatipartita, laciniis 3—5 jugis valde spinosis, cetera ut in typo.

Nom. Jap. Kiso-uraziroazami.

Hab. Prov. Shinano, Shimoina-gun, Iida, Mt. Nenzyo, Kamimatsukawa, alt. 1600m (T. Yamazaki et K. Asano, Aug. 12, 1963, no. 7580, Typus in Herb. Univ. Tokyo); ibidem alt. 1400m (T. Yamazaki et K. Asano, no. 7587); ibidem alt. 1800 m, (T. Yamazaki et K. Asano, no. 7579). Ooshika-mura, Zigokudani (Simoina-kyoikukai, Sept. 1926).



Cirsium norikurense var. *kisoense*. ×0.18.